

## 鳥坂寺跡保存活用基本構想等策定委員会 会議録

### ◆第4回会議（2011年11月24日）

時間…15：00～16：30

場所…歴史資料館3階 研修室

#### 1. 開議

#### 2. 基本理念（案）・基本方針（案）・計画地への展開・ゾーニング案について

（説明）

#### 3. 基本理念（案）・基本指針（案）についての質疑・意見等

（○…委員からの意見・質疑、▲…事務局の回答）

##### （1）基本理念（案）について

○金堂跡と塔跡を結ぶための、陸橋などが必要なのではないか。

▲近鉄との連携を図っていきたいが、線路上ということで様々な規制があり、現実的には難しい。ただ、基本構想の中で、整備の指針として金堂跡と塔跡を結ぶ導線の必要性を盛り込むことはできる。

○語句について、

「東北・東日本大震災での被災者の協力」⇒「東北・東日本大震災での被災者間の協力」

「つながりをあらためて認識」⇒「つながりの重要性をあらためて認識」

「歴史的資産に恵まれた地域でもある。」⇒「歴史的資産に恵まれた地域である。」

としてはどうか。また最後にある「歴史を掘り起こす起爆剤」という言い方も気になる。

○「河内六寺」という語句も必要ではないか。また鳥坂寺跡から見える古市古墳群などの「景観」や、柏原市が交通の要衝だった点についても盛り込むべき。

○「起爆剤」という語句に違和感がある。市民に興味を持ってもらうという意味合いにすべき。

○柏原市にある史跡について、有効に利用されているとは言にくい。市民に有効に利用されるきっかけを、鳥坂寺跡が担うという意味合いも持たせてほしい。

○語句について、

「東北・東日本大震災の被災者の協力は、日本人本来の持つ思いやり、助け合いの「心」がみられ」 ⇒ 「東北・東日本大震災では被災者の助け合いがみられ」

としてはどうか。「鳥坂寺跡は…孝謙天皇ゆかりの古代寺院」の箇所、「河内六寺の一つ」であることを入れたほうが良い。

▲事務局で検討する。

(2) 基本方針(案)について

- 「(2) 復元を含めた具体的な展示」とあるが具体的な展示方法は？
  - ▲展示するとした場合、基本的に遺構は埋めた状態で、海会寺跡のような復元をイメージしている。
- 「(2) 復元を含めた具体的な展示」の箇所「史実に基づいて」とあるが、僧坊・食堂跡も含めて考えているのか。
  - ▲含めて考えている。
- 寺からだけではなく、大和川からの景観も考えたら良いのでないか。
- 「(1) 市民へのアピール」について、整備する前の段階に、遺跡の重要性をアピールする必要がある。そのための具体的な方法を考えるべきで、アピールと整備を別にするほうが良い。
- 高井田横穴公園では、あまり人をみかけないが、アピール不足ではないか。
  - ▲今の時期、多くの小学生で賑わっているが、常時滞在する公園ではなく、滞在時間が短い。
- 高井田横穴公園のように、散歩に利用できるように整備すべき。
- 市内にある高井田横穴、松岳山古墳、田辺廃寺跡の3つの史跡を知らない人が多い。個人の所有地の所もあるので、あまり使われていない。市民レベルにわかりやすくアピールする必要がある。
- 当時の生活の様子について学習できる視点が必要なのではないか。
- 「(6) ネットワークの構築」に関連するが、寺からの景観をもっとアピールすべき。
- 「(4) 魅力の多様化」を具体的に考えると、太陽パネルを導入するなどして夜間ライトアップしたり、モニュメントを設置するなどして、名所となるようにすべき。
- 「(1) 市民へのアピール」は、「市民」よりも国の史跡だから、もっと対象を広くすべき。
- 管理方法についての記載がないが、管理方法も方針に入れるべきでは。
  - ▲具体的な管理方法については、専門家による意見・指導が必要となるので、この委員会では、管理していく方向性を盛り込んでいただきたい。
- アピールのため、線路両脇の法面を広告に利用できないか。
- 抽象的な表現になりがちなので、「(1) 市民へのアピール」などにも、鳥坂寺跡の具体的な重要性を盛り込むべき。
- 「(6) ネットワークの構築」の内容は、具体的にどのようなことを意味するのかわかりにくい。

○仮に鳥坂寺跡を公園として整備した場合、近隣に高井田横穴公園や、大和川河川敷公園などがあり、公園が集中していることになるのではないかと。

▲遺跡の保存・活用という観点からの公園である、単純な公園ではなく「史跡公園」として考えていただきたい。

○次回で構わないので、周辺にある文化財をネットワークとして捉えた場合の具体的な導線を示して欲しい。

▲現在進めている観光ビジョンで提示した資料があるので次回提示する。

○知名度を高める意味でも、河内飛鳥という視点を取り入れて欲しい。

○委員会で検討材料となる資料を、前もって送って欲しい。

#### **4. 次回委員会開催日時について**

事務局：次回は12月22日（木曜日）、場所は本日と同様、歴史資料館3階研修室で行う。  
後日、改めて文書で各委員に通知する。

#### **5. 閉議**